

国際ロータリー第2680地区

2024-25年度 第1回 戦略計画委員会 議事録

日時 : 2024年7月26日(金) 16:00~18:00

場所 : ホテル竹園芦屋

参加者 : 矢坂誠徳ガバナー(神戸西)、矢野宗司地区ラーニングファシリテーター(加古川中央)、山口宰代表幹事(神戸西)、秦紳一郎ガバナー指名ガバナー補佐(洲本)、吉井久美子 DEI 委員長(HYOGO REC)、橋本雅彦公共イメージ委員長(姫路東)、高瀬英夫委員長(西脇)、永瀬隆一副委員長(芦屋川)、神谷誠治(尼崎中)、二神敏行(尼崎中)、古川彰治(宝塚)、竹原善記(宝塚)、和田孫博(神戸東灘)、岡田和也(姫路西)、中村孝秀(龍野)、阪本渚子(宝塚ユニバース衛星)

議事録作成: 阪本渚子

次第

1. 開会挨拶 矢坂ガバナー

2. 今年度行動計画委員会の狙いと行動計画 高瀬委員長

3年目の今年度はビジョンと行動計画を各クラブのみなさんに作って頂きたいという思いで委員会の運営を行う。委員会の皆様のご意見により、各グループのガバナー補佐、会長、幹事も参加してもらいグループディスカッションをすることになった。まずは芦屋からスタートすることになった。手探りの状態ではあるが、みなさんのアイデアを頂きながらバージョンアップしていきたい。

11月以降の場所は未定なので、ガバナー補佐や委員会のみなさんと相談しながら決めていきたい。

3. 本日の出前セミナーについて 永瀬副委員長

委員の皆さんには進行役(ファシリテーター)として、グループディスカッションを進めて頂く。30分×2で60分。その後、各班からディスカッション内容の発表を行う。

テーマ①各クラブにおけるビジョン・行動計画の進捗状況について

②「単年度制から複数年度制への移行」への対応や意識について

質問:

テーマ 2 に関する単年度制から複数年度制への移行について具体的内容が問われた。来年度から年度ごとのテーマやロゴが廃止され、3年の複数年度制が提案されている。

発言要旨:

(山口) 2023年10月のRI理事会で、3年度制の目標を各クラブで設定する話がでている。クラブセントラルでも今年度の秋頃から3年間の目標設定の入力が可能になる予定。ビジョンを数値目標、ローリングターゲット、行動計画の3段階で具体化することが実行しやすいとの提案。今後はセミナーとの連携も課題。

(永瀬) 各クラブの対応開始時期は未定。クラブセントラル開始の秋から対応を始めることが1つの目安となる。

(高瀬) 委員会としてはクラブにビジョンと行動計画の作成を促し、次年度からの開始を目指す。

(矢坂) 複数年度制の適用に際して、1年単位で継続すべき数値目標を受け継ぐことが重要。3年で1つのプロジェクトを達成するのではなく、継続性を重視すべき。

(中村) クラブが目標を未作成の場合、他クラブの意見を参考にしながら、基本的には作成が必要であることを伝え、方向性を持つよう促す。

(矢坂) 難しいと感じるクラブもあるが、ポジティブな指針として受け入れ、クラブ活性化に繋げるよう伝えることが重要。

結論:

- 複数年度制への移行には、3年間の目標設定と継続的な数値目標の重要性が強調され、クラブ間での温度差や対応開始時期の調整が求められている。